

平成 20 年度当初予算 施策別概要

234 技術の高度化の促進

(主担当部：政策部
科学技術振興センター)

- 23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進
(政策部科学技術振興センター)
- 23402 地域産業を支援するための技術開発の推進
(政策部科学技術振興センター)
- 23403 県内企業への技術支援の推進
(政策部科学技術振興センター)

< 施策の目的 >

(対象) 県内企業が

(意図) 研究機関の研究成果や研究基盤を活用して、新技術の開発や基盤的技術の高度化を進めている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
企業で活用された研究成果件数	目標値	-	63 件	64 件	66 件
	実績値	63 件			

過去 5 年間の研究事業から生み出された研究成果のうち、次の 3 項目のいずれかに該当する、研究成果が活用された件数 技術移転、特許等の実施許諾、研究成果の製品・商品化

施策目標項目 (副指標)		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
技術支援件数	目標値	-	11,000 件	11,300 件	12,000 件
	実績値	11,859 件			

企業等からの技術的要求に対応した、以下の項目に該当する件数の合計 技術相談 (企業訪問時を含む) 規程に基づく技術支援、依頼試験、機器開放、技術者育成講座等の受講者数

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 新技術の開発や基盤的技術の高度化を通じて、県内中小企業等が抱える技術課題の解決や新製品の開発を支援してきました。
- ・ 県内の産業界は、一層、国際間・地域間競争や急激な技術革新にさらされていることから、県内企業が産業競争力を高めるためには、新産業分野への展開や新産業の創出、地域産業の高度化を促進していく必要があります。
- ・ 企業における独創的な技術開発を促進し、技術の高度化をはかっていくために、産学官の連携を一層強化してことが重要となっています。
- ・ 企業ニーズに応じた技術支援の充実や、企業における技術人材の育成などが求められています。

< 平成 20 年度 of 取組方向 >

県内企業の新産業分野への展開や市場ニーズの拡大に対応する分野への展開につなげるため、産学官の連携を推進して、燃料電池の構成部材の性能向上や地域天然資源の有効活用のための技術開発などに取り組みます。

地域産業の高度化をはかるため、機械部品の生産技術の高度化や鋳物・陶磁器製品のブランド化、コンクリート・プラスチック材料の有効活用などを促進する研究開発に取り組みます。

中小企業からの技術相談や研究基盤を生かした依頼試験や機器開放に取り組みとともに、企業の技術力向上のために技術人材の育成に取り組むなど、技術支援を充実します。

<主な事業>

燃料電池技術の普及を促進する要素開発事業費

【基本事業名：23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進】

予算額： 3,268千円 2,275千円

事業概要：燃料電池の構成部材を低コストで成形する技術の開発に取り組み、県内企業の燃料電池関連技術の高度化をはかります。

地域天然資源の有効成分活用研究事業費

【基本事業名：23401 新分野への展開をはかる技術開発の推進】

予算額： 3,977千円 2,478千円

事業概要：県内の天然資源を医薬品や食品素材として活用するため、有効成分と安全性について調査し、データベース化をはかるとともに、有用な天然資源の医薬品・食品素材化に取り組みます。

(新)環境に配慮した低火度磁器の技術開発とその製品デザイン開発費

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

予算額： - 千円 2,442千円

事業概要：従来より低温で製造することが可能で、透光性機能をもつ磁器素地に着目し、新しい釉薬開発、素地の高性能化技術やデザイン開発に取り組みます。

(新)環境負荷を軽減する機能性コンクリート製品の開発費

【基本事業名：23402 地域産業を支援するための技術開発の推進】

予算額： - 千円 2,811千円

事業概要：小粒径の骨材を活用し、植生基盤や水質浄化などの機能を付与したコンクリート製品の開発に取り組みます。

中小企業の技術開発人材育成事業費 【基本事業名：23403 県内企業への技術支援の推進】

予算額： 2,063千円 1,664千円

事業概要：中小企業の技術者育成を支援するために、陶磁器・鋳物分野をはじめ、電子機械、医薬食品、コンクリート材料の分野などを対象として、基盤技術の研修講座や先進的な技術セミナーを開催します。